



▶ MAKING THE WORLD
A BETTER PLACE

決算説明資料

Financial results briefing materials

2021年3月期 第3四半期

インヴァスト株式会社



Mission/Vision
経営戦略

Mission

存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

Vision

目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たしビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略 (STAGE2 : 2020>>>2022年)

1 事業の継続的成長

- ・国内金融事業:重点事業(トライオート、マイメイト)への経営資源集中
- ▶ 海外金融事業:プライムブローカレッジ市場におけるトップクラスのグローバルマーケットプレイヤーを目指す
- ・R&D、テクノロジー活用を軸とした商品・サービスの高度化

2 グループシナジーの追求

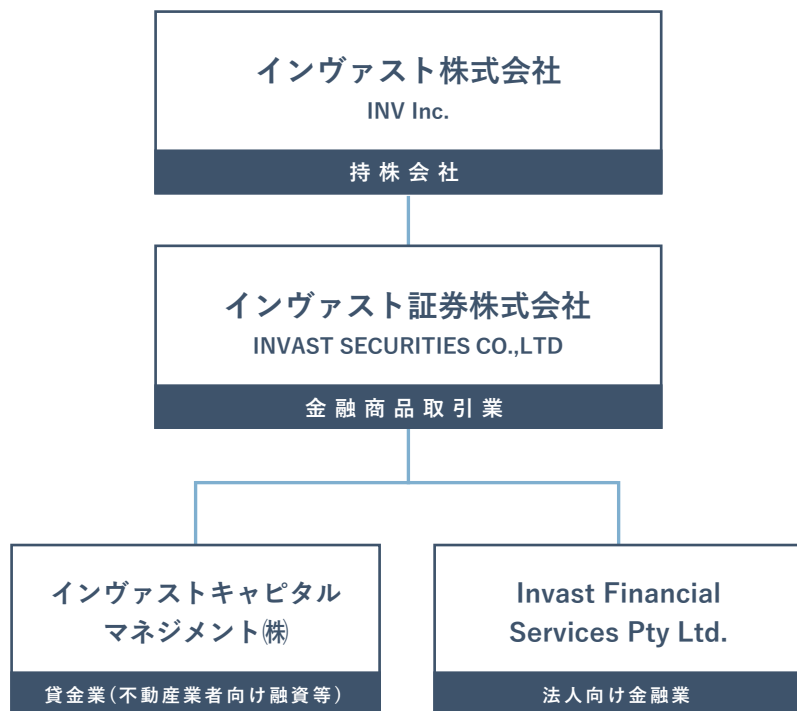
- ・2020年10月、持株会社体制へ移行(株式移転完全親会社:インヴァスト株式会社の設立)
- ・新規事業開始等の戦略実行にあたり、柔軟かつスピード感のある機動的な体制の構築
- ▶ 事業ポートフォリオの分散(投資助言、不動産ファイナンス事業等の比率アップ)
- ・グローバルベースでのシナジーの発揮(グループITマネジメント、共通業務の集約化による業務プロセス効率化等)
- ・各子会社成長に加えてM&Aも活用

3 その他

- ▶ 企業ブランド価値向上(IR・PR)
- ・グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

持株会社化について

2020年10月1日
株式移転により持株会社を設立



持株会社化の目的

新規事業の創出や事業の多角化を進めるうえで、
業務提携、M&A等の手段を活用しやすくする

意思決定の迅速化、リスク管理の最適化


本株式移転に伴い、インヴァスト証券株式は上場廃止となりましたが、
持株会社の株式が、いわゆるテクニカル上場により、2020年10月1日より
東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場いたしました

銘柄名	インヴァスト株式会社
-----	------------

コード	7338
-----	------

持株会社の概要

名称	インヴァスト株式会社(英文名:INV Inc.)
所在地	東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
代表者	代表取締役社長 川路 猛
事業内容	グループ会社の経営管理およびこれに付帯する業務
資本金	500百万円
設立年月日	2020年10月1日
決算期	3月31日



四半期決算概要

[2020.10~12]

第3四半期ハイライト

- ▶ 第3四半期の営業収益は**前年同期比△3.6%**の11億20百万円、純営業収益は**前年同期比+0.0%**の10億39百万円
- ▶ 国内金融事業は、新サービス「マイメイト」のリリース延期により、売上がない状態でコストが継続
既存サービスのプロモーション強化等により、取引量は前年同期と比べて増加したものの、**減収減益**
- ▶ 海外金融事業は、DMACFD取引が増加基調となったことや、MT5の新規取引顧客の増加が
売上に寄与し、**増収増益**
- ▶ これらの結果、営業利益は**前年同期比△51.0%**の48百万円、経常利益は**前年同期比△72.4%**の35百万円、
親会社株主に帰属する四半期純利益は**前年同期比△72.4%**の23百万円となる

当社は、2020年10月1日にインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、インヴァスト証券株式会社の2020年3月期第3四半期連結会計期間と比較しております。

第3四半期決算 業績サマリー

単位：百万円	2020年3月期 3Q(2019.10-12)	2021年3月期 3Q(2020.10-12)	対前年同期 増減率
営業収益	1,162	1,120	△3.6%
純営業収益	1,039	1,039	+0.0%
営業利益	98	48	△51.0%
経常利益	129	35	△72.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	86	23	△72.4%

当社は、2020年10月1日にインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、インヴァスト証券株式会社の2020年3月期第3四半期連結会計期間と比較しております。

営業収益の内訳

営業収益は、前年同期比 $\Delta 3.6\%$ の**11億20百万円**

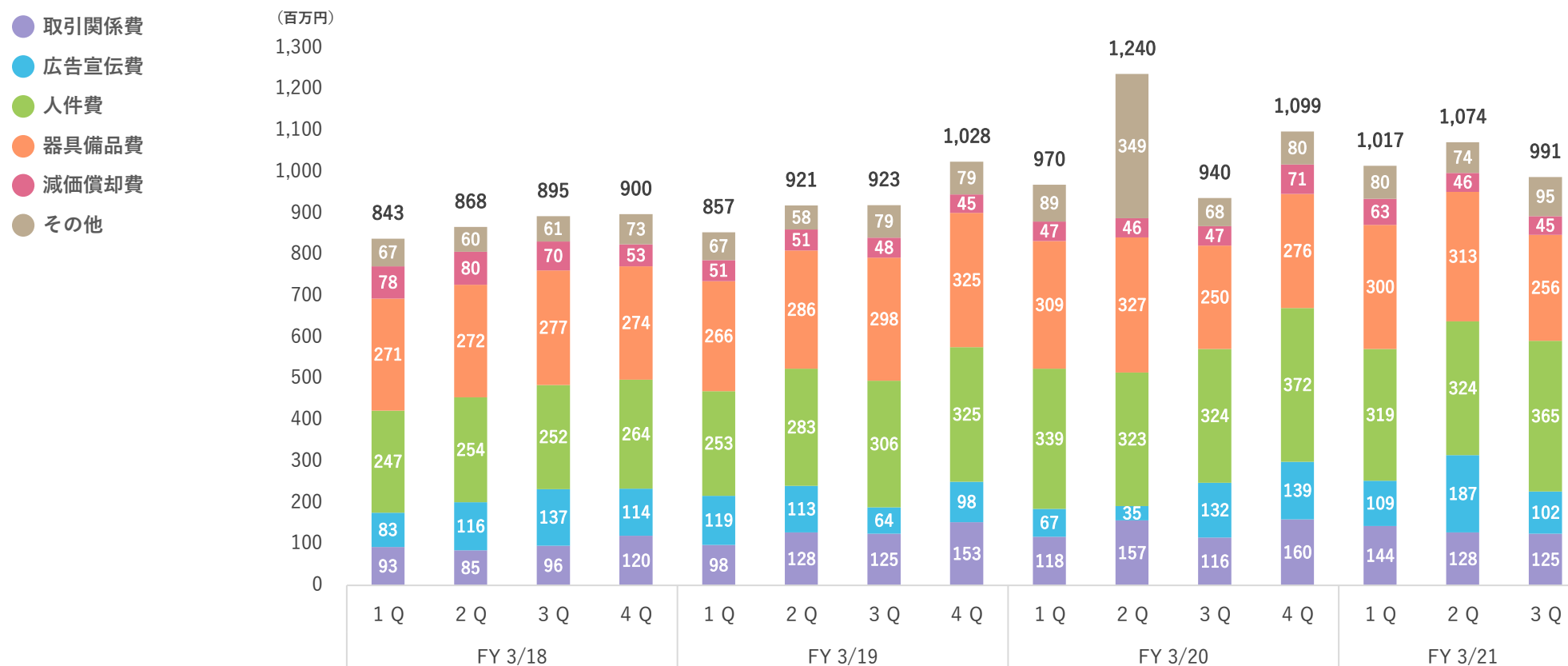
受入手数料は同 $+58.2\%$ の2億19百万円、トレーディング損益は同 $\Delta 11.6\%$ の6億85百万円



販売費・一般管理費の内訳

販売費・一般管理費は、前年同期比+5.4%の **9億91百万円**

広告宣伝費は同△23.0%、人件費は同+12.6%、取引関係費は同+8.2%、器具備品費は同+2.4%



営業利益推移

営業利益は、前年同期比△51.0%の**48百万円**





セグメント情報
国内金融事業

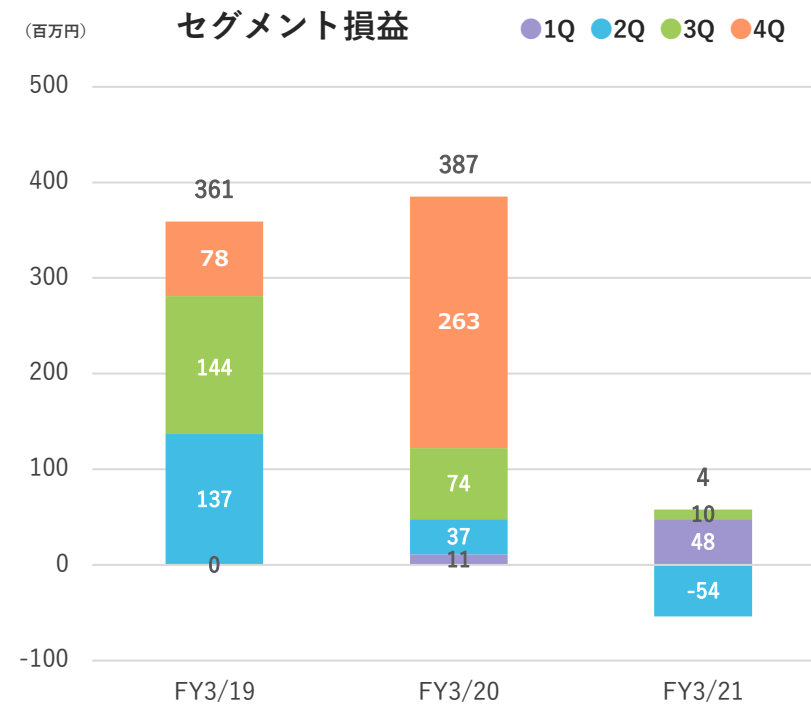
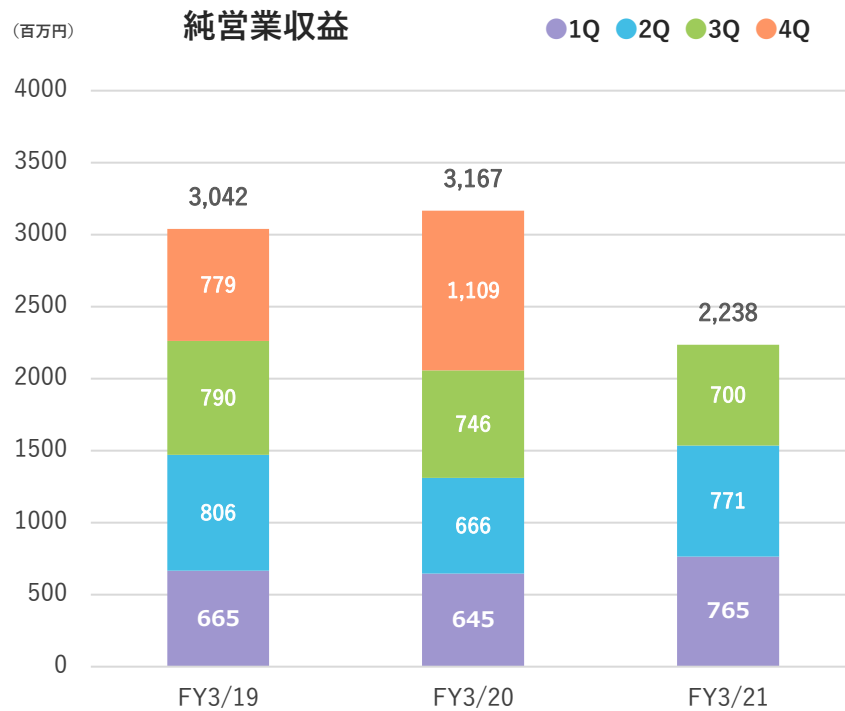
国内金融事業 第3四半期ハイライト

- ▶ 純営業収益は前年同期比△6.1%の7億円、セグメント利益は前年同期比△85.5%の10百万円
- ▶ 預り証拠金は、上期にコロナ相場の影響を受けたものの新規顧客獲得プロモーションの強化により、店頭CFDが前年同期比+94%、店頭FXが前年同期比+5%
- ▶ 店頭CFDの取引高は、新規口座数の増加や米国株高の市況に牽引され、前年同期比+94%
- ▶ 店頭FXの取引高は、新規口座数の増加やスプレッドおよびキャッシュバックキャンペーンにより前年同期比+44%
- ▶ 口座数は、「FX24」事業統合および「くりっく株365」事業譲渡の影響により前年同期比△8%となったが、広告宣伝の強化を行ったことにより、直前四半期（7-9月）比+1%

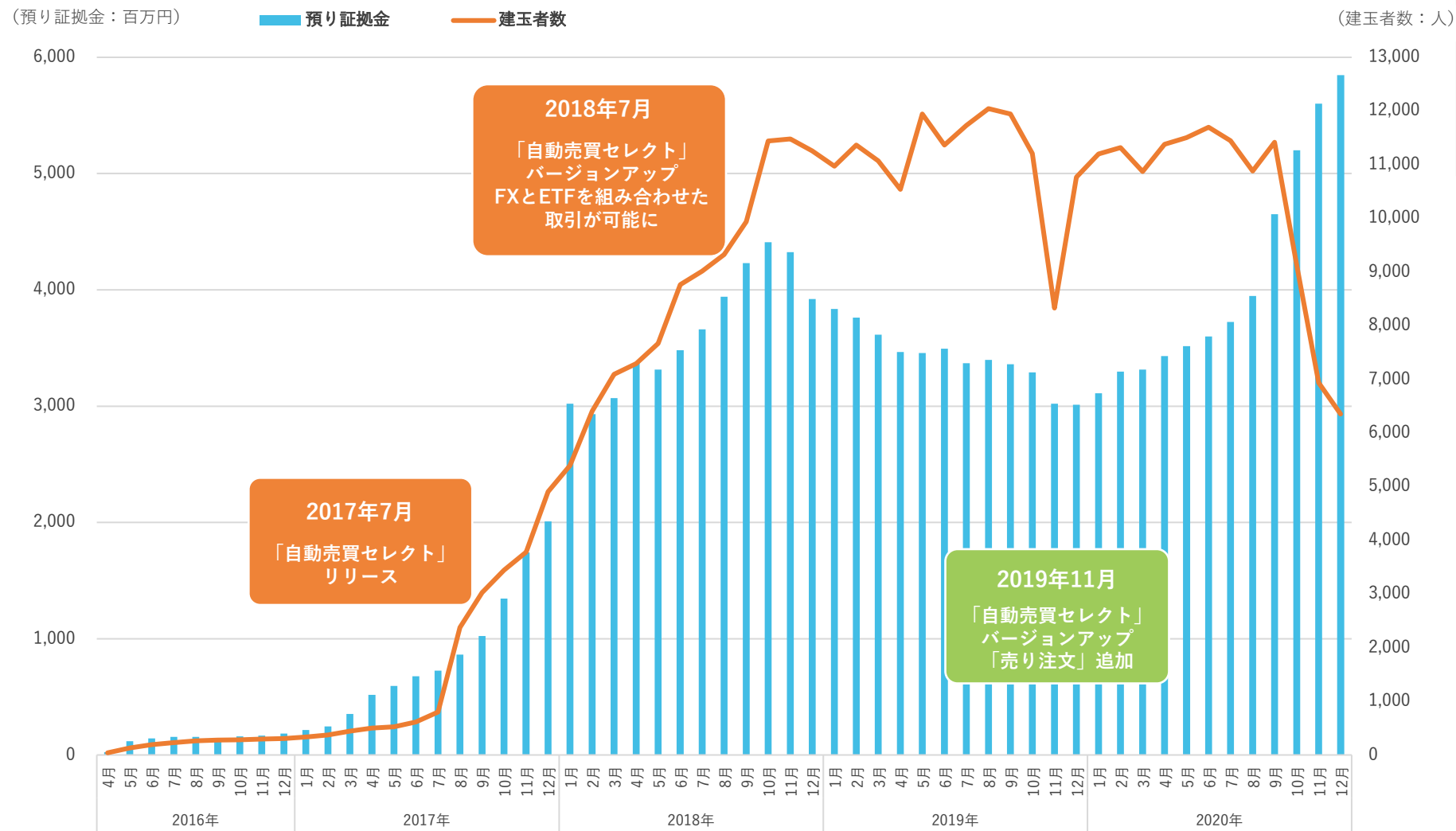
国内金融事業は、当社および連結子会社（インヴァスト証券株式会社、インヴァストキャピタルマネジメント株式会社）です。

国内金融事業

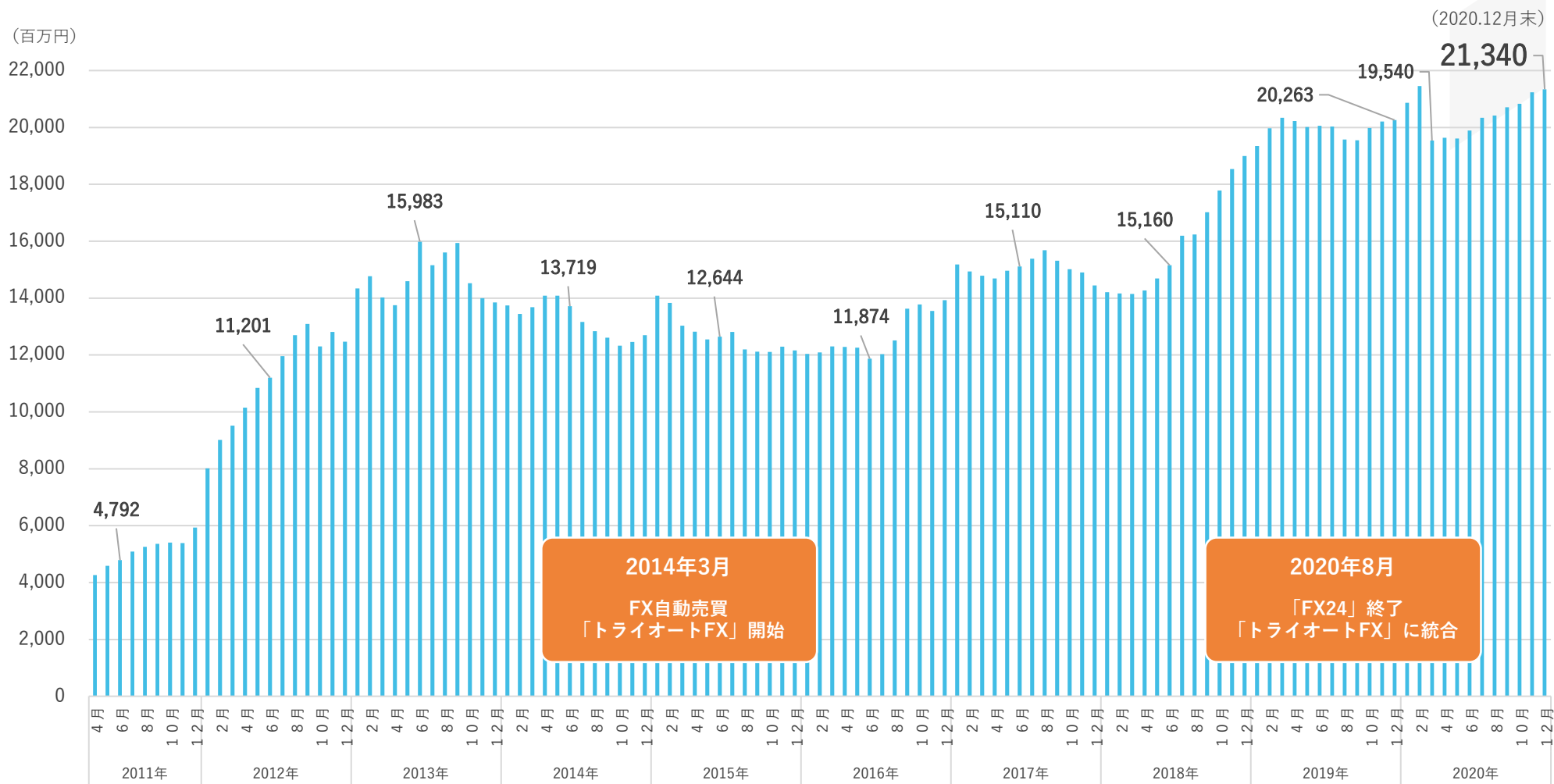
- ・純営業収益は、前年同期比 $\Delta 6.1\%$ の**7億円**
- ・セグメント利益は、前年同期比 $\Delta 85.5\%$ の**10百万円**



[店頭CFD] 預り証拠金・建玉者数

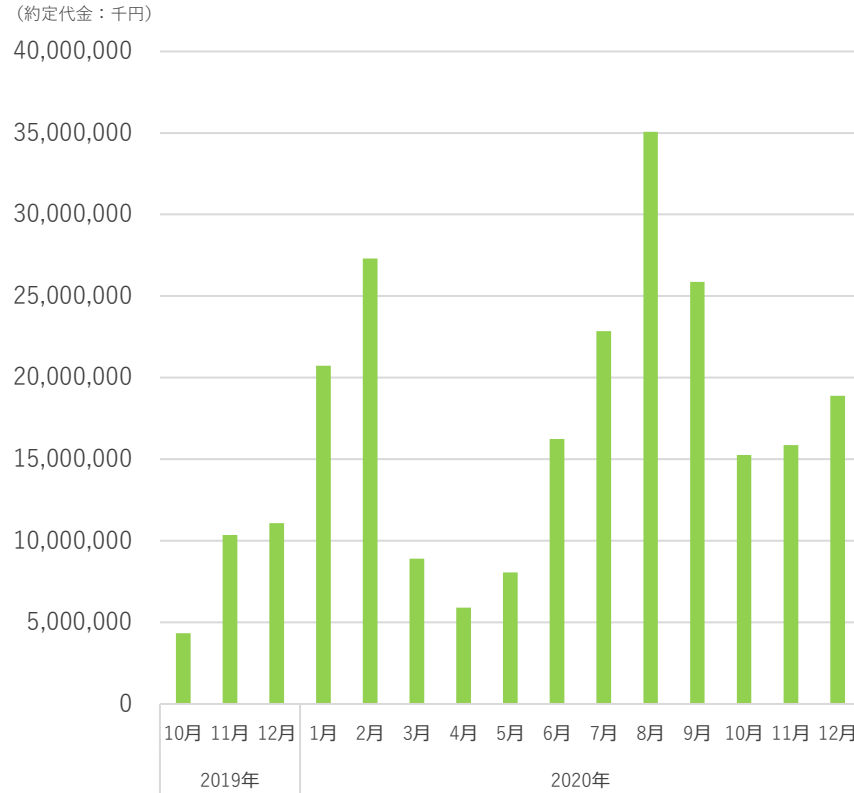


[店頭FX] 預り証拠金

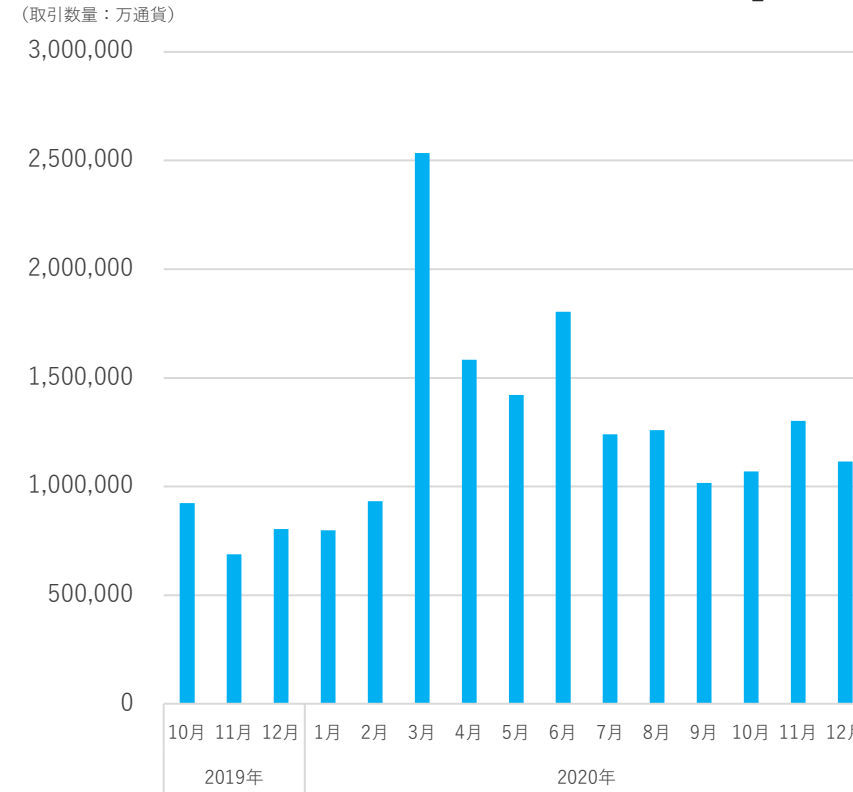


[店頭CFD/FX] 取引高

店頭CFD 「トライオートETF」



店頭FX 「シストレ24・トライオートFX」



Appendix

プロダクトマネジメントの第一人者 市谷 聡啓氏がCPMOに就任

2020年12月1日付で、新規事業をはじめとするプロダクト開発力の大幅な向上を目的として、日本のアジャイル開発の第一人者で政府CIO補佐官としても活躍されている市谷 聡啓(いちたに としひろ)氏が、当社のチーフプロダクトマネジメントオフィサー(CPMO)として就任しました。

同氏の参画は、当社グループが、より柔軟でスピード感のあるプロダクト開発ができる体制を構築するスタートとなります。



市谷 聡啓氏のプロフィール 株式会社レッドジャーニー代表、政府CIO補佐官、DevLOVEオーガナイザー

サービスや事業についてのアイデア段階の構想から、コンセプトを練り上げていく仮説検証とアジャイル開発の運営について経験が厚い。プログラマーからキャリアをスタートし、Slrでのプロジェクトマネジメント、大規模インターネットサービスのプロデューサー、アジャイル開発の実践を経て、自らの会社を立ち上げる。それぞれの局面から得られた実践知で、ソフトウェアの共創に辿り着くべく越境し続けている。

著書：「カイゼン・ジャーニー」「正しいものを正しくつくる」「チーム・ジャーニー」「いちばんやさしいアジャイル開発の教本」

訳書：「リーン開発の現場」

プロフィールサイト <https://ichitani.com/>

セグメント情報

海外金融事業



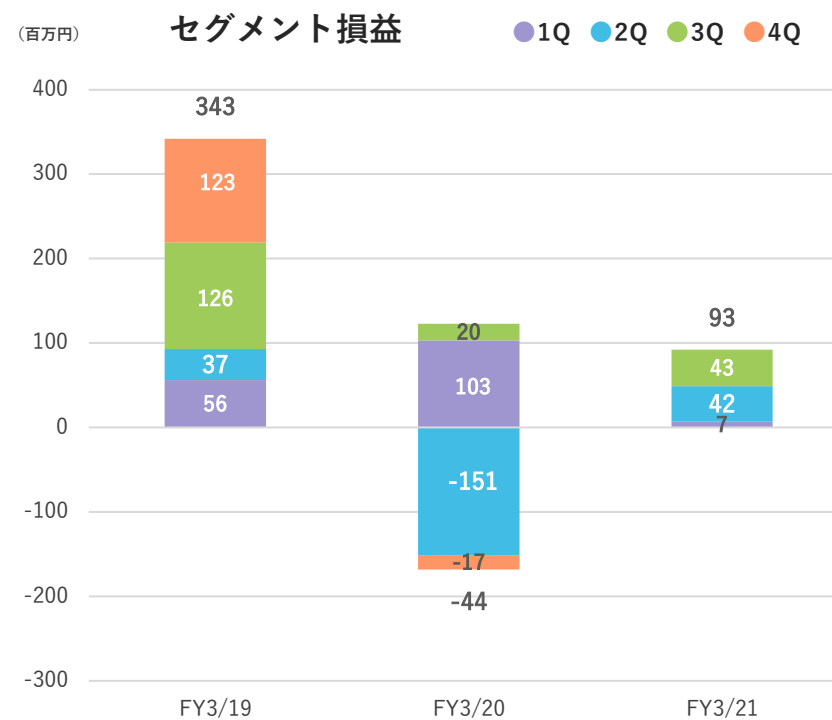
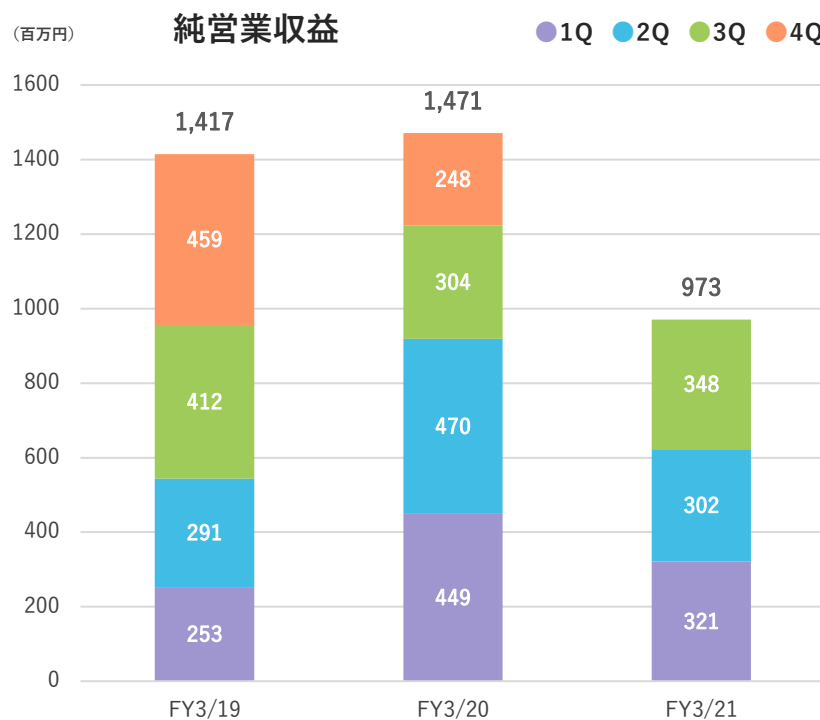
海外金融事業 第3四半期ハイライト

- ▶ 純営業収益は**前年同期比+14.5%**の3億48百万円、セグメント利益は**前年同期比+106.3%**の43百万円
- ▶ 預り証拠金は、**前年同期比+61%**
取引好調によりDMACFDが**前年同期比+111%**、FX、Index and Commodityが**前年同期比+27%**
- ▶ マーケティング強化により、特にBtoCにおいて口座数が増加

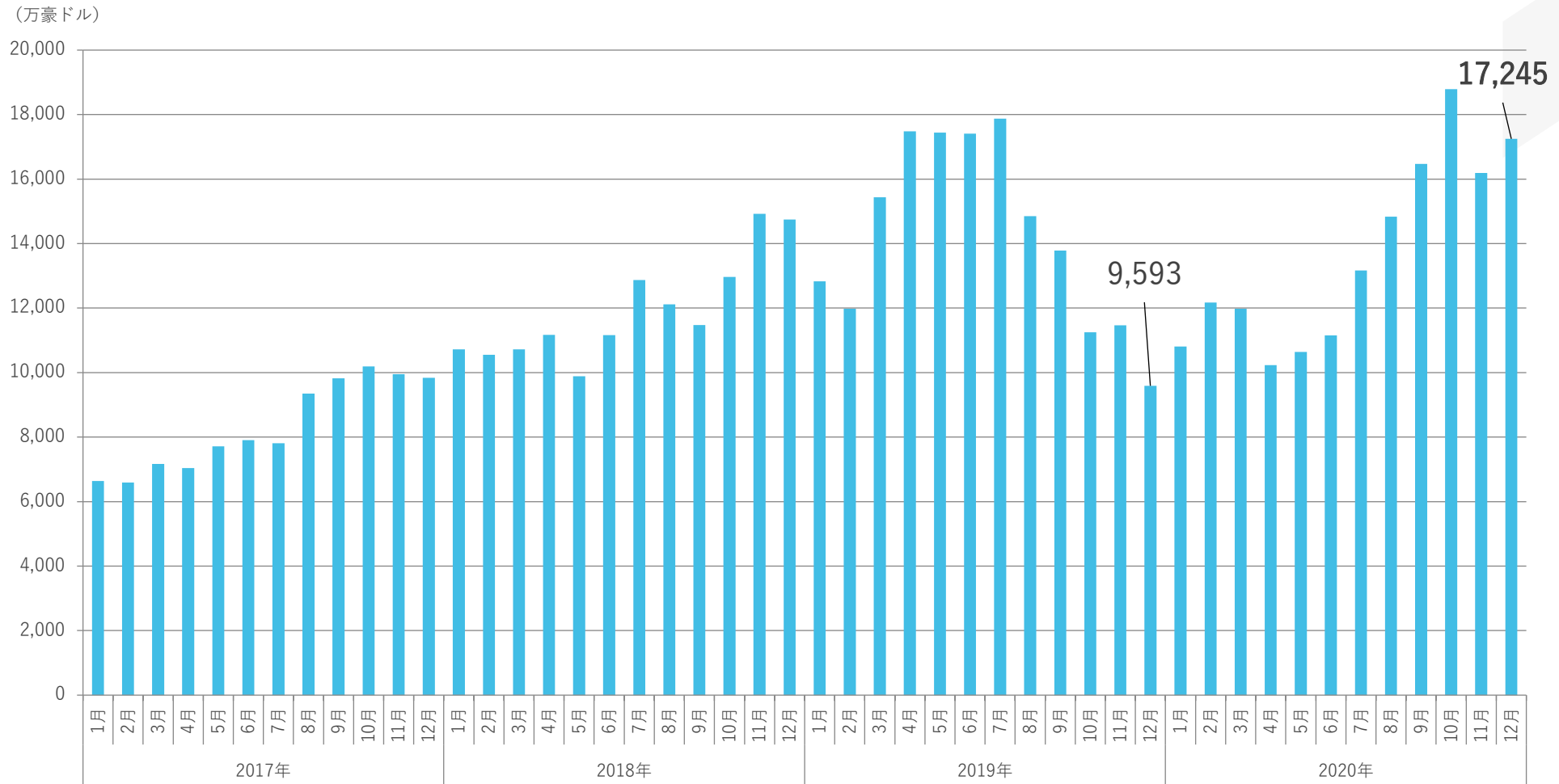
海外金融事業は、当社の海外連結子会社（Invast Financial Services Pty Ltd.）です。同社の決算日は12月31日となっているため、連結決算への数値の反映は発生から3ヶ月後となります。当第3四半期連結会計期間においては、2020年7月から9月までの実績を反映しております。

海外金融事業

- ・ 純営業収益は、前年同期比+14.5%の**3億48百万円**
- ・ セグメント利益は、前年同期比+106.3%の**43百万円**



[IFS] 預り資産推移



Appendix

Invast Financial Service（以下、IFS）は、第3回2020年FXマーケットアジアアワードの「ベストFXプライム・ブローカー」部門を受賞しました。

今年で3年目を迎える同賞は、アジア・太平洋地域の外国為替市場関係者の中から、特に優秀な実績を収めたものに贈られる賞です。

その中でIFSはマルチアセットサービスプロバイダーとして、コロナ禍の経済環境の中でも質の高いサービスを提供してきたことなどが評価され同賞を受賞いたしました。



經營目標・株主還元



重視する経営指標①

当社グループは、収益の源泉であり、「お客様からの信頼の証」である**顧客口座数**、**預り証拠金**に加え、グループ全体の事業活動の成果を示す**連結経常利益**を重要視しております。

国内金融事業

預り証拠金:701億円
顧客口座数:56万7,803口座

2020年12月末現在

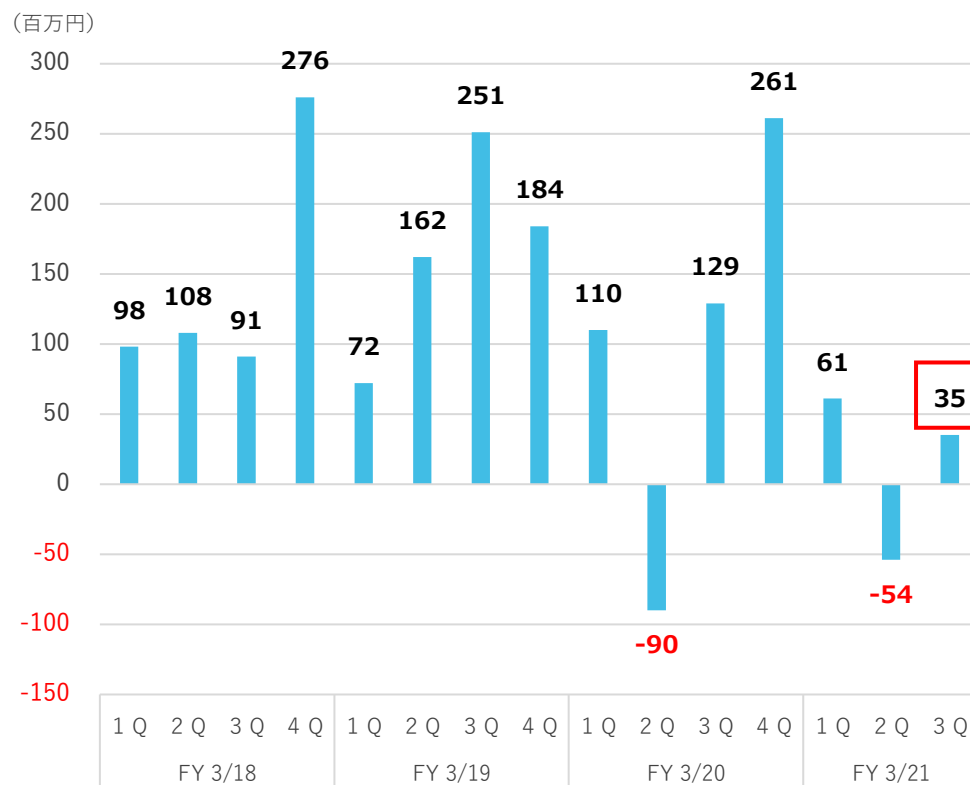
※顧客口座数は、当社の累計開設口座数です。当社では、同一顧客による複数サービスの同時口座開設が可能となっており、サービス毎に1口座として集計しております。

海外金融事業

預り証拠金:1億7,245万豪ドル

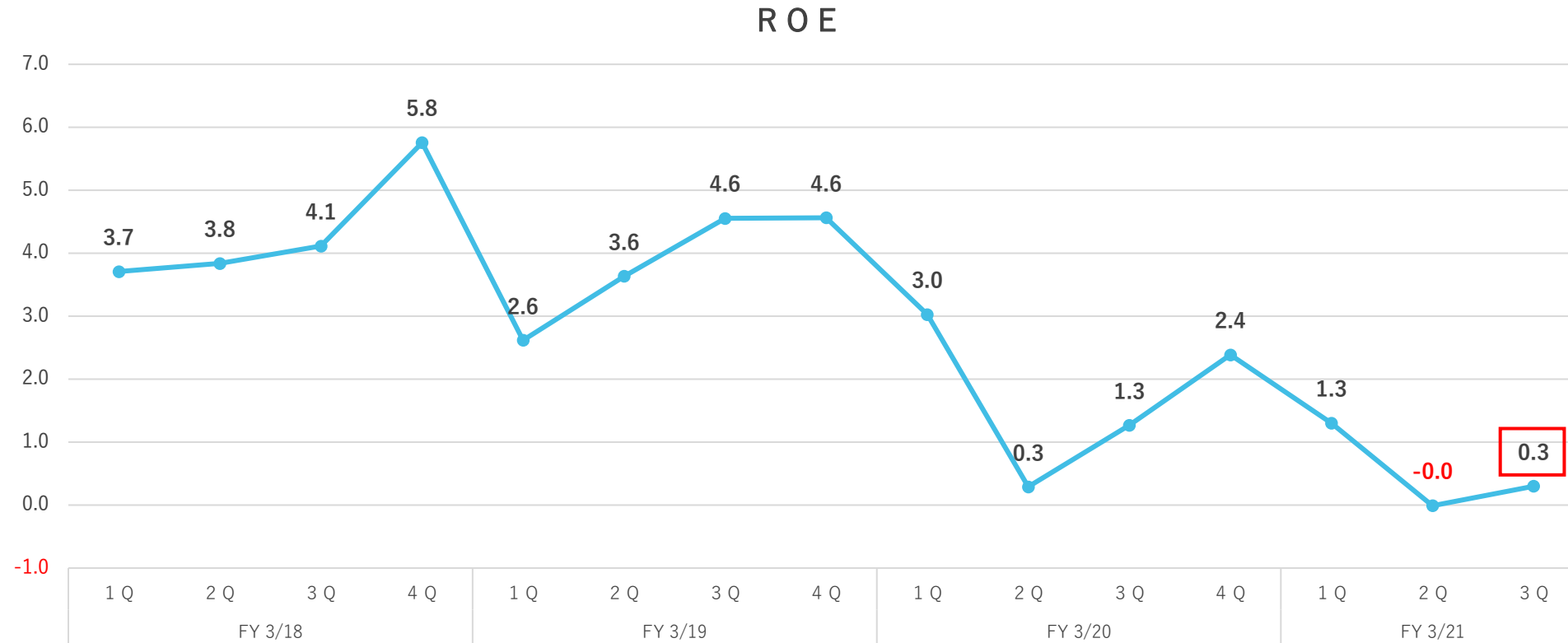
2020年12月末現在

経常利益



重視する経営指標②

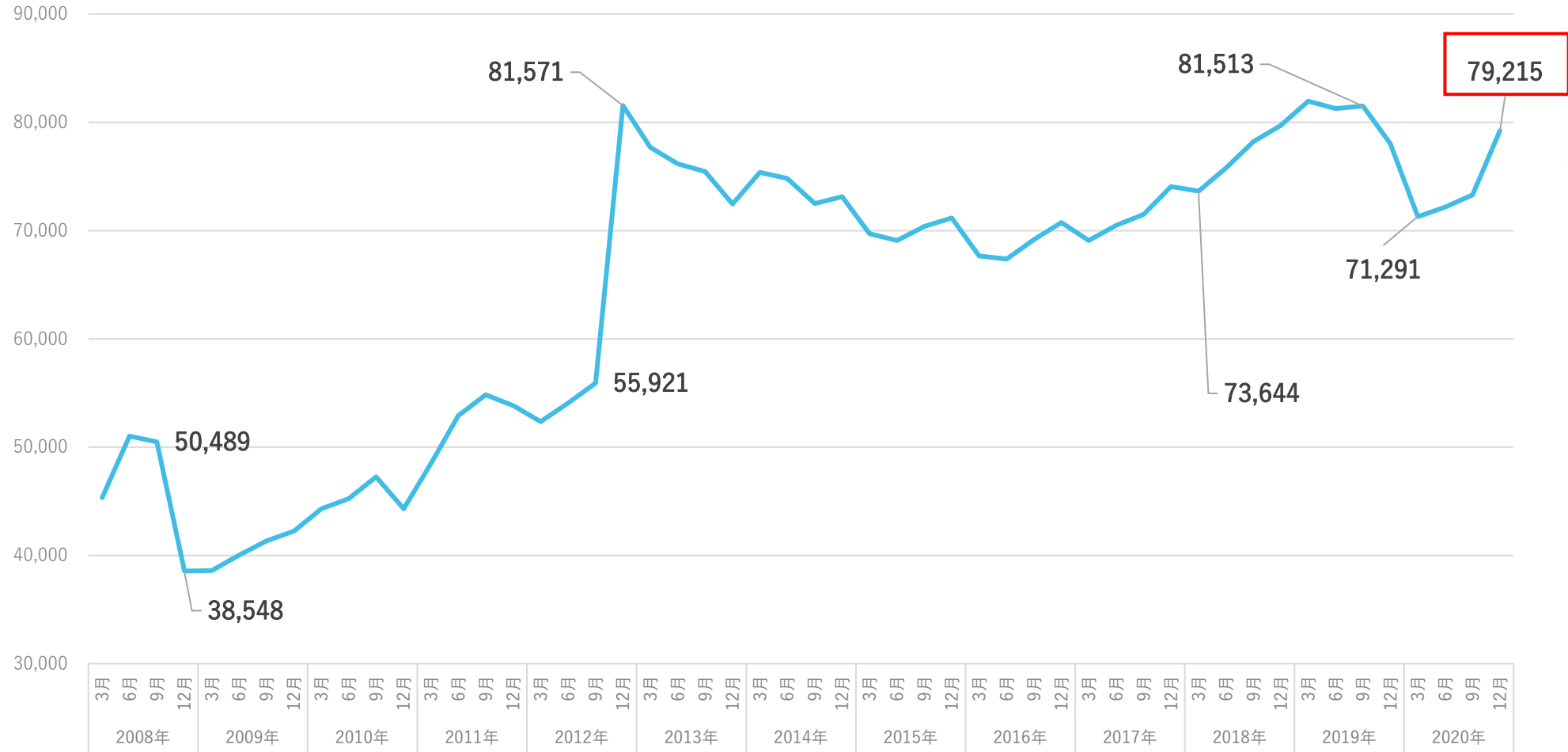
企業価値の向上を目指し、株主資本を有効活用することが重要であるという認識のもと、**株主資本利益率(ROE)**を重要な経営指標として位置づけております。



(注) ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

[連結] 預り証拠金推移

(百万円)



(注) 連結子会社IFSの決算日は12月31日となっているため、連結決算への数値の反映は発生から3ヶ月後となります。
2020年12月末の預り証拠金には、同社の9月末の実績を反映しております。

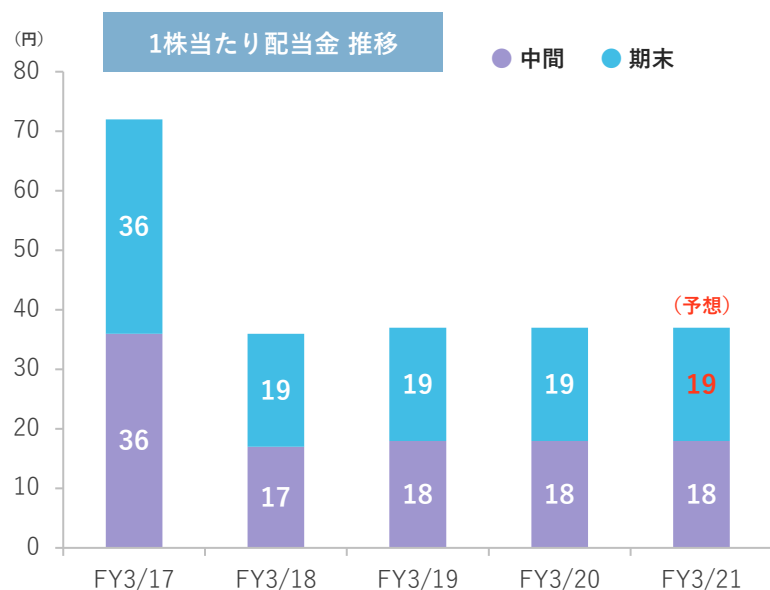
株主還元

配当方針

連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%(年率)のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

2021年3月期 配当予想

期末配当 **19円**



配当の実績

決算期		17/3月期	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	36.0	17.0	18.0	18.0	18.0
	期末	36.0	19.0	19.0	19.0	19.0 (予想)
	合計	72.0	36.0	37.0	37.0	37.0 (予想)
当期純利益(百万円)		△118	597	486	257	
配当総額(百万円)		422	211	217	217	
配当性向(%)		—	35.4	44.7	84.4	
ROE(%)		—	5.8	4.6	2.4	
DOE(%)		4.0	2.0	2.0	2.0	
配当利回り(%)※		5.5	3.4	4.2	6.8	

※各年度末の終値で算出

インヴァスト株式会社 会社概要



会社名	インヴァスト株式会社 (英語名 INV Inc.)
会社名	〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
代表者名	代表取締役社長 川路 猛
設立日	2020年10月1日
資本金	500,000,000円
上場市場名	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) 証券コード7338
事業内容	グループ会社の経営管理および新規事業開発



免責事項

本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。

本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。

掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。
